

千葉県支部だより

栄養士会員の皆さまと共に歩む
(与党過半数割れの参議院選挙結果を踏まえて)

副支部長 押切 泰子

今年度の千葉県支部総会・日本栄養士連盟総会も無事終了し、2025年度の活動を開始しております。

今回の第27回参議院選挙(7月3日公示・7月20日投開票)では、皆様の温かいご支援を頂きまして御礼を申し上げます。選挙結果につきましては、お陰様で栄養士連盟所属の石井準一候補が4回目の当選を果たすことができました。しかしながら、栄養士連盟の活動にご理解を頂きました千葉地方区の豊田敏郎候補と全国比例区の山東昭子候補が残念な結果となってしまいました。ご協力有難うございました。

自民党・公明党の連立与党は、自民党の派閥裏金問題などの政治と金をはじめとする国民の政治に対する不満などから衆議院に続いて参議院も過半数割れとなっていました。

自民党は組織の立て直しなどにしっかり取り組まれることを期待しております。

来る11月1日(土)には、千葉県栄養士会創立80周年・法人設立50周年の記念講演、祝典祝賀会が開催されます。なお、1975年6月に日本栄養士連盟が政治団体として届出を行ってから今年で50周年を迎えます。

その間、栄養士免許制度廃止運動、栄養士法一部改正、介護報酬・診療報酬の改定など、多くの成果を挙げてきました。連盟は、栄養士会にとってなくてはならない存在です。その連盟を支えるのは、誰でもない栄養士会員の皆様なのです。食事を提供する施設や栄養・食に関わる業務の実施には、栄養士・管理栄養士が必要です。その業務に携わる皆さんが、力いっぱい安心して頑張れるように、連盟は政治活動をとおして側面支援の活動を行って参ります。

今後も連盟活動にご理解、ご協力いただき入会されること望んでいます。

1. 千葉支部の近況

今年は、参議院議員選挙が今までになく厳しい状況とのことで、年明け早々から選挙の推薦依頼を受けるなど気ぜわしい中で始まり、支部総会、連盟総会、参議院選挙への対応、京浜地区合同会議などが終わりようやく一段落しました。

前回の議員連盟会長の山東先生の選挙では、東京近辺の支部から出陣式に動員されて参加する程度でしたが、今回は、情勢が厳しいとのことで連盟会員に対するハガキによる依頼活動が行われることになりました。

一昨年秋からの派閥の裏金問題の解明が進まず、政治不信が進み自民党の支持率が20%代の中で今まで行ったことの無い会員への「ハガキによる協力依頼」の実施方法に一抹の不安を感じましたが協力依頼を発送しました。

会員から協力をいただき、333枚のハガキの返送を得ました。協力を得た皆さまには有り難く御礼を申し上げます。

しかし、その反動なのか会費の納入率が低い状況が生じております。

日本栄養士連盟は、時の政権与党である自民党を支持していますが、これは全ての日本栄養士連盟の会員に自民党の支持を強要するものではありません。

日本国憲法は、思想信条の自由を保証しており会員の皆さんは自分の思想信条に従って行動できるものであることをご理解いただきたいと思います。

このことを踏まえ、引き続き日本栄養士連盟の会員として会費の納入をいただき、栄養士・管理栄養士の未来のためにお力添えをくださるようお願い致します。

現在、4月から10月の間、会員の拡充に向けて職域事業部の研修会の折に入会の案内を行っていますので、一人でも多くの千葉県栄養士会会員の皆さんが日本栄養士連盟に入会されお力添えを賜りますようお願い致します。

支部長 長谷川克己



2. 2025年度千葉県支部総会報告

支部総会は5月24日（土）千葉県教育会館大ホールにて千葉県栄養士会総会終了後、14時25分開催しました。長谷川支部長のあいさつの後、高倉由美子氏を議長に選出し、議長が総会の成立を確認。

第1号議案：議事録署名人選出の件、第2号議案：2024年度活動・事業報告および収支決算報告並びに監査報告承認の件、第3号議案：2025年度活動・事業計画および収支予算（案）承認の件、について執行部から提案説明を行い、全ての議案が原案通り承認され14時45分閉会しました
常任幹事 石橋

3. 2025年度日本栄養士連盟通常総会報告

日本栄養士連盟総会は、6月21日（土）（日栄総会は、6月21・22日（土・日）の日程で開催）、新大阪ワシントンプラザホテルにおいて開催されました。千葉県支部からは、長谷川支部長が出席しました。

総会は、16時15分、海老原副会長の開会の辞、井上会長あいさつの後、中村丁次日栄会長から日栄と連盟が車の両輪として力を合わせて栄養問題の解決のために頑張らしようとのあいさつが行われました。

続いて栄養士議員連盟会長参議員議員：山東昭子先生の動画による祝辞、地元近畿地方選出の高市早苗衆議院議員、松川るい参議院議員、山本大地衆議院議員、島田智明衆議院議員などからご祝辞をいただき、代理出席の先生の紹介が行われました。

続いて祝電が披露され、栄養士議員連盟役員皆さまから多数の祝電が披露されました。

引き続いて、議長、書記団、議事録署名人、書記の選出が行われました。議長から定数の確認が行われ代議員73名のうち出席者64名、委任状7名、欠席2名で総会の成立が確認されました。

第1号議案 2024年度活動報告・評価及び収入支出決算書承認の件、監査報告

第2号議案 2025年度活動計画（案）及び収入支出予算書（案）承認の件、

第3号議案 日本栄養士連盟規約改正（案）承認の件が執行部から提案され、いずれも提案のとおり承認されました。

2023年度会員数は、10,550名に対し2024年度は10,400名でしたが、17県の支部で100%を超えました。

2025年度予算は、特別会計から400万円を一般財源へ繰り入れて会費の値上げを回避しています。

引き続いて、報告事項に移り、地区会長・支部長合同会議の報告、栄養士連盟

の要望と回答についての評価＝各職域幹事報告などが行われ18時閉会しました。
支部長 長谷川

4. 第1回幹事会報告

幹事会に先立ち、6月15日（日）午前10時から第1回常任幹事打ち合わせ会を開催して幹事会の議題について検討しました。

第1回幹事会は、7月6日（日）午前10時～12時の間、千葉県栄養士会事務所において開催し、役員（参与、本部副会長を含む）13名が出席しました。支部長あいさつに続き、報告事項として会費の納入状況、千葉支部総会報告、日本栄養士会・日本栄養士連盟定時総会報告、職域事業部研修会時の入会案内の実施などについて関係役員から行いました。引き続き、政治活動報告は参議院選挙にともなう山東昭子先生ハガキ支援活動、栄養士議員連盟所属の参議院選出陣式等の出席について報告を行いました。

2025年度活動・事業計画に基づいて下記の議題について検討し決定しました。

（1）2025年度役割分担について

（2）事業の進め方について

支部だよりの発行・記事の構成、会議の開催、発送準備作業予定など

（3）会員の拡充について

入会案内リーフレットの作製、職域研修会での入会案内の実施など

（4）京浜地区会長・行政・連盟合同会議について

（5）支部だより53号の発行・発送準備について

（6）その他

幹事長 高澤



第1回 幹事会 栄養士会事務所前にて

千葉県の栄養士議員連盟加盟議員名簿

衆議院	参議院
小林鷹之、松野博一、森英介、松本尚	石井準一、猪口邦子、白井正一

5. 京浜地区会長・支部長合同会議報告

2025年度の京浜地区会長会議は7月30日(水)13時から17時の間、日本栄養士会、都県栄養士会事務所、参議院会館会議室などをつないだWeb開催により行われました。

日本栄養士会から阿部絹子常務理事ほか4名(東京都会長含む)、地区栄養士会からは平野孝則埼玉県栄養士会長、杉崎幸子千葉県栄養士会長、西村一弘東京都栄養士会長、西宮弘之神奈川県栄養士会長、都県行政担当者4名、都県副会長、事務局長など9名が参加しました。

千葉県栄養士会からは鯨岡春生副会長、石原徳子副会長、設水栄子事務局長が参加しました。

連盟からは参議員会館会議室に本部から海老原昌子副会長、小川紀明地区幹事、國分葉子職域幹事、中山順子埼玉県支部長、長谷川克己千葉県支部長、鈴木麻理子東京都支部長、福川裕子東京都副支部長、高橋正子神奈川県副支部長が参加しました。Web参加として千葉県支部から押切泰子副支部長、児玉直子副支部長、高澤博道幹事長、神奈川県支部から浜谷由美子副支部長が出席しました。

はじめに13時から当番施設の東京都栄養士会：西村一弘会長のあいさつ、日本栄養士会：本川佳子担当理事のあいさつ、参加者の自己紹介により会長会議が14時30分まで開催されました。

続いて14時30分から15時15分の間、会長・行政担当者会議が開催されました。

会長・連盟支部長合同会議は、15時15分から16時の間、小川紀明地区幹事の進行により、自己紹介の後に進められました。

議題は、(1)統一議題として、・会員増対策について・会員管理システムの活用について (2)その他・支部の課題について・国会議員や県議会議員を招いたミニ集会(勉強会)の開催について・2025年度京浜地区支部長会議事前アンケートについて

事前アンケートを基に各支部から取り組みを報告し、質疑応答が行われました。併せて、栄養士会長から連盟会員増に向けての取り組みが報告されました。支部長・会長合同会議の後、情報交換が行われ、17時にすべての日程が終了しました。支部長会参加者で時間の許す者6名が近くの全国町村会館で食事会を行った後、散会しました。

支部長 長谷川



6. 政治活動報告

(1)山東昭子先生ハガキ支援活動などについて

5月8日(木)勝利向かって走る会 東京プリンスホテル 山本会長、押切副支部長など17名

5月16日～22日 会員へのハガキ支援依頼発送 ハガキ総数61名 延べ333枚

6月29、30日(月)ハガキ整理 押切副支部長

7月10日(木) ハガキ整理 押切副支部長

(2)政治活動報告

5月21日(水)石井準一を励ます会 TKPガーデンシティ千葉 長谷川支部長、高澤幹事長

5月30日(金)松本 尚国政報告会2025 ホテル日航成田 長谷川支部長

(3)参議院選挙関係

6月23日(月)豊田俊郎決起大会 八千代市民会館 長谷川支部長、押切副支部長、高澤幹事長、大和田常任、石井参与

7月3日(木)石井準一出陣式 TKPガーデンシティ千葉 長谷川支部長、押切副支部長、高澤幹事長、大和田常任、石井参与

7月3日(木)豊田俊郎出陣式 ホテルミラマーレ 長谷川支部長、押切副支部長、高澤幹事長、大和田常任、石井参与

7月3日(木)山東昭子出陣式 汐留FSビル 井上会長、海老原副会長、長谷川支部長など11名

7月19日(土)豊田俊郎最終演説会 八千代中央駅 押切副支部長、大和田常任、石井参与

7月19日(土)石井準一最終演説会 千葉市中央公園 長谷川支部長、児玉副支部長、高澤幹事長、石橋常任幹事

選挙の結果は、一昨年秋からの派閥裏金事件などの政治と金、年金や物価高対策への取り組みへの不満などから自民党・公明党は大幅に得票を減らし、山東先生、豊田先生は残念ながら落選してしまいました。

昨年の衆議院選挙に続いて参議院選挙においても過半数の50を確保出来ず47の過半数割れに。国民は、常に政治を見ていることを忘れずに、さまざまな政策や取り組みなど真摯に見直し、国民政党として再生されることを念願しています。

支部長 長谷川



京浜地区会長・支部長合同会議に出席して

幹事長 高澤博道

前記5番に記載の京浜地区会長・支部長合同会議に千葉県栄養士会事務所から押切・児玉両副支部長とともにWEB出席しました。

議題は前記のとおりで会員増対策は京浜4支部ともほぼ同じでした。1県栄養士会情報誌（会報栄養千葉）発送時に連盟だより、入会案内などを同封する。2各職域事業部の研修会へ出向き入会勧誘や会費の集金を行う。3会費未納者に対し振り込み依頼書を郵送する。4連盟活動について、栄養士会会長からの後押しをお願いする。

以上の対策を行っても京浜4支部とも目立った会員増にはなっていません。千葉県支部も会員増対策を毎年実施していますが一向に会員は増えません。従来の会員増に向けた入会の案内方法、入会のお勧め方法がよくないのか、栄養士自身の政治活動への意識、関心が低いのか、はつきりした理由はわかりませんが何年も続けて入会のお勧めを行っても連盟会員は増えません。連盟役員の総入れ替えが必要かもしれません。

現在、栄養士議員連盟は政権与党所属の国会議員を軸に構成されています。埼玉県会長の会長は政権党に関係なく栄養士、栄養士会を応援してくれる国会議員組織の連盟になればよいという趣旨の発言がありました。私も以前考えたことがありましたがそれは理想論であって現実的にはできないとあきらめています。

政権政党への肩入れが連盟会員の増えない理由なのか？団体としては政権与党へ我々の要求をお願いしなければその要求は実現できません。普段支持している政党と違うことも大いにあると思いますがそのことを十分に理解していなければ連盟活動を理解することができません。

京浜4支部の連盟活動は栄養士会事務所を使って行っています。ある県の活動では「栄養士会に気を使いながら、遠慮しながら使用させてもらっている」支部もあるようです。

栄養士会と連盟は表裏一体として活動していくことが必要と昔、先輩役員から聞いていました。今の若い会員は、栄養士会と連盟は全くの別組織という感覚になっているのではないかと感じてしまうことがあります。組織は別といっても連盟役員も栄養士会会員です。栄養士会事務所を遠慮せず堂々と使っているはずですよ。

連盟は1964年（昭和39年）6月第5回総会（山形県・山形県民会館）で任意団体として日本栄養士連盟の結成大会を開催し、1975年（昭和50年）6月の第16回総会（宮城・仙台市民会館）で政治資金規正法に基づく政治団体として東京都選挙

管理委員会に届出を行いました。連盟はもとも栄養士会が作った団体です。

連盟の結成経緯からもわかるとおり栄養士会と連盟は表裏一体となって栄養士の地位、身分、業務の確保と業務の拡大を図っていく必要があります。

表裏一体の表は連盟、裏は栄養士会と私は思っています。表裏反対ではないかと考えている会員は今一度よく考えてみてください。

コーヒー ブレイク



○ 会費納入のお願い

日本栄養士連盟は健康づくり施策の推進、栄養士制度の充実、診療報酬・介護報酬などの引き上げ、栄養士・管理栄養士の働く場の拡充、労働環境の改善などを達成するため、さまざまな活動を行っています。活動を行うための2025年度会費の早期納入をお願いします。

併せて、1人でも多くの会員の皆さんの日本栄養士連盟千葉県支部への入会をお待ちしています。

支部だよりは、千葉県栄養士会会員の全員に配布しています。すでに会費を納入された方、連盟支部を退会された方は、行き違いになりますことご容赦ください。

○ 連盟会費の納入方法

会費は2,000円です。郵便局から振込用紙（郵便局にあるもの）、または電信で納入する方法です。

口座記号番号は、[記号]00120＝3、[番号]651774、[加入者名]日本栄養士連盟千葉県支部です。

振込用紙には、必ず栄養士会会員番号、所属職域事業部名、自宅郵便番号、住所、氏名、電話番号をご記入下さるようお願いいたします。

○ 日本栄養士連盟ホームページについて

内容は、日本栄養士連盟の概要、活動状況、都道府県支部一覧、入会案内、連盟だよりなどが掲載されています。

2020年度から千葉県支部の活動状況を掲載しています。ご覧ください。

アドレス<http://www.eiyourenmei.jp/>

